

2024.5.7 tue

at
TOKYO INTERNATIONAL FORUM
Hall C

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

後援：一般社団法人全日本吹奏楽連盟、
東京都吹奏楽連盟、
公益社団法人日本吹奏楽指導者協会、
公益財団法人日本音楽教育文化振興会、
一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、
一般社団法人日本吹奏楽普及協会

New Sounds in BRASS

CONCERT 2024



<https://www.tkwo.jp/>



つくる。つつま。つなぐ。

東京佼成ウインドオーケストラ

New Sounds in BRASS 2024 再始動 クラウドファンディングご支援のお礼

2023年の8月8日から10月6日まで実施した

「New Sounds in BRASS再始動」クラウドファンディングでは、
大変多くの方から総額13,291,540円ものご支援をいただきました。

「New Sounds in BRASS」が

吹奏楽文化においてさらなる一歩を踏み出し、

多くの人々に音楽の喜びを届けることを願って

挑戦したクラウドファンディング。

改めてこんなにも多くの方からご支援いただけたことに驚くと同時に、
皆様の期待の大きさ、私たちが担う役割の大きさを実感いたしました。

皆さま、あたたかいご支援をありがとうございました。

一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

クラウドファンディング特設ページ：<https://readyfor.jp/projects/NSB2024>

❗ 注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合がありますこと、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。



PROGRAM | プログラム

〈New Sounds in BRASS 2024 より〉

ディズニー・メドレー・リターンズ	編曲／星出尚志	約8分
ジャパニーズ・グラフィティXXII シティー・ポップ・メドレー	編曲／金山 徹	約8分
SPY×FAMILYメドレー	編曲／鈴木瑛子	約6分40秒
YOASOBIメドレー	作曲／Ayase 編曲／高橋宏樹	約6分40秒
誰も寝てはならぬ	作曲／G.ブッチーニ 編曲／三浦秀秋	約4分10秒
アフリカン・シンフォニー2024	作曲／V.マッコイ 編曲／三浦秀秋	約5分

休憩／約20分

Welcome to the Tokyo III jazz club	作曲／鷺巣詩郎 編曲／狭間美帆、天野正道	約6分20秒
Tomorrow ～「生きもの地球紀行」エンディングテーマ～	作曲／杉本竜一 編曲／鈴木英史	約4分
マンボ・メドレー	編曲／天野正道	約8分10秒

クラウドファンディングにご支援いただいた皆さまからのリクエスト曲

ディープ・パープル・メドレー 〈NSB1996/第24集〉	編曲／佐橋俊彦	約5分20秒
シング・シング・シング 〈NSB1981/第9集〉	作曲／ルイ・プリマ 編曲／岩井直博	約5分30秒
サウス・ランバート・ストリート・パレード 〈NSB1986/第14集〉	作曲／レイ・ボーデューク&ボブ・ハガート 編曲／岩井直博	約5分
オーメンズ・オブ・ラブ 〈NSB1986/第14集〉	作曲／和泉泉隆 編曲／真島俊夫	約5分

PROFILE | プロフィール

指揮

天野正道 *Masamichi Amano*

映像音楽、現代音楽、歌謡曲、Jazz、演歌から吹奏楽まで節操なく書く作曲家、指揮者。国立音楽大学大学院作曲科創作専攻首席修了、武岡賞受賞。故岩井直博氏の後を継ぎ2015年以降ニューサウンズインプラスの指揮編曲や、シン・ゴジラ、シン・エヴァンゲリオン、シン・ウルトラマンなど鷲巢詩郎氏作品の管弦楽編曲指揮を担当する。2023年4月3日よりリニューアルスタートしたNHK総合テレビNews7の音楽を担当している。第23回(おもちゃ)24回(バトルロワイアル)日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。第10回日本吹奏楽学会アカデミー賞受賞。現在東京音楽大学特任教授、尚美ミュージックカレッジ専門学校、中部楽器技術専門学校特別講師を務めている。



Saxophone/ゲストコンサートマスター

織田浩司 *ORITA NOBUTA*

BIG HORNS BEE(米米CLUB)、COLORSのメンバー、九州管楽合奏団「九管ポップス」音楽監督、フィルハーモニックウインズ大阪 ミュージックアドバイザー、洗足学園音楽大学 講師、尚美ミュージックカレッジ専門学校 講師

90年に米米CLUBのホーンセクション BIG HORNS BEEのメンバーとなる。以降、国内外の数々のアーティストと共演。ライブ、レコーディングに活躍中。自他共に認める吹奏楽好きで知られ、日本各地の学校の吹奏楽部、指導者、吹奏楽団との親交を深めている。近年ではシエナ・ウインドオーケストラ、オオサカ・シオン・ウインドオーケストラ・九州管楽合奏団の指揮者を勤めている。



Trumpet

エリック・ミヤシロ *Eric Miyashiro*

米国人のプロトランペッターの父、日本人のダンサー/女優の母と言う恵まれた音楽環境の中でハワイで生まれ育つ。小学校の頃から楽器を始め、中学の時にプロとして活動始める。ジャズだけではなく中学、高校時代、多数のオーケストラでも活動をし、数多くのコンチェルトを演奏、地元の“天才少年”としてテレビ、ラジオの出演依頼が殺到、噂が広まり、高校三年の時ハワイ代表として全米高校オールスターバンドに選ばれニューヨーク、カーネギーホールで憧れのメイナードファーガソンと初共演する。高校卒業後、ボストン、バークレー音楽院に奨学金(Maynard Ferguson Scholarship)で招かれ入学、在学中からボストン市内のスタジオ仕事等を先生たちと活動する。22歳でバディリッチ、ウディハーマンなどのビッグバンドにリードトランペッターとして招かれ、7年間の間、世界中を回る。数多くのアーティストのリードトランペッターとして活動後、89年に日本に来日、すぐに持ち前の読譜力、オールマイティな音楽性でスタジオ録音、テレビ、アーティストのツアーサポートなどの仕事を始める。吹奏楽、オーケストラ、学校講師、クリニック、作曲家、アレンジャー、プロデューサーとしても幅広く活動を広め、題名のない音楽会などのテレビ番組の出演も多数。2013に“Blue Note Tokyo All Star Jazz Orchestra”のリーダー/音楽監督として活動始める。



Electric Guitar

小堀 浩 *Hiroshi Kobori*

20歳からフルバンド「今城嘉信 the consolation」でプロとして演奏を開始。その後25歳で独立し様々な音楽シーンで活動始める。スタジオミュージシャンとして多くのアーティストやアレンジャーからの指名で幅広いジャンルの録音に参加。映画やアニメ、舞台作品のレコーディングなどと、布施明サポートメンバーとして長期に渡り演奏している。2020年10月、自身初となるソロアルバム(E)をアッシュバニーレコードより発売。



Electric Bass Guitar/Contrabass

齋藤順 *Jun Saitoh*

東京芸術大学器楽科卒業。長きにわたりスタジオミュージシャンとして演奏編曲等多数行ってきたが、'08年ソロアルバム「ブラックバス」リリースをきっかけにソロ活動も展開。'11年リリース「オブリビオン〜伝えたい気持ち」は、映画白夜行(堀北真希主演)のタイアップ曲も収録されるなど話題作となった。'14年リリース「いにしへの彼方から」は日本古来の音作りを意識し、世界に誇れる日本人サウンドを志した。'18年リリース「Voclassic Night」は、オールクラシック作品でクラシック界からも高い支持を受けている。また、各方面のアーティストプロデューサーも多数手掛け、音楽の仕掛け人としても高く評価されている。



MC/音楽ライター

富樫 鉄火 *Tecca Togashi*

吹奏楽とクラシックを中心に、CDライナーや演奏会プログラムに解説を執筆。ほかに、映画、本、舞台などエンタメ全般も手がける。ネット・ニュース「デイリー新潮」ライター。最近では小澤征爾追悼「N響事件」記事がYAHOOニュースでトップとなった。中学から大学まで吹奏楽部でフルートやクラリネットを担当。吹奏楽コンクールの東京・高校予選A組は毎年、3日間、全団体(約60校前後)を聴いている。ネット連載「岩井直博自伝 昭和犬走」(聞き書き)で岩井の生前最後の声をまとめ、告別式では弔辞を読んだ。



PROGRAM NOTES | 曲目解説—富樫鉄火(音楽ライター)

本文中の「ニュー・サウンズ・イン・プラス」は「NSB」、「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

〈New Sounds in BRASS 2024 より〉

ディズニー・メドレー・リターンズ 編曲：星出尚志

- 小さな世界 ● ハイ・ホー ● ララルー ● いつか王子様が ● ミッキー・マウス・マーチ
- カラー・オブ・ザ・ウィンド ● 美女と野獣

NSBに《ディズニー・メドレー》が初登場したのは、第9集(1981年)だった。編曲は、NSBの生みの親で、“吹奏楽ポップスの父”岩井直博(1923～2014)。東京ディズニーランドの開園より2年も前のことで、当時の岩井やNSBスタッフの先見性に驚かされる。以後、佐橋俊彦や真島俊夫らによる続編メドレーが登場したが、今回は星出尚志による新アレンジ。NSBでもすでに《ミッキー・マウス・マーチ》や《ファンティリュージョン》など、多くの“ディズニー・サウンド”を手がけているベテランだ。岩井版以来、40数年ぶりに“リターン”した新たな響きをお楽しみいただきたい。

ジャパニーズ・グラフィティXXII シティー・ポップ・メドレー

編曲：金山 徹

- SPARKLE ● プラスティック・ラヴ ● 君は天然色
- フライディ・チャイナタウン ● 真夜中のドア～stay with me

ここ数年、「シティー・ポップ」の復権がつついている。栗本斉著『「シティポップの基本」がこの100枚でわかる!』(星海社新書)など、ガイドブックも続々刊行された。「シティー・ポップ」とは、1970～80年代にかけて、海外ポップスの影響を受けてヒットした、その名のとおり“都会的”な音楽だ。先導したのは、なんといっても「はっぴいえんど」(細野晴臣、大瀧詠一、松本隆、鈴木茂)、そして山下達郎であった。彼らは、“日本語は洋楽風の旋律に乗りにくい”といわれるタブーを打ち破り、新しい世界を切り拓いた。このメドレーに登場する曲のアーティストは、順に、山下達郎、竹内まりや、大滝詠一、泰葉、松原みき。いずれもシティー・ポップ全盛期を支えたひとたちである。

SPY×FAMILYメドレー 編曲：鈴木瑛子

- STRIX ● Crisis of my home ● Gorgeous step ● Very Elegant ● Bondman ● クラクラ

『SPY×FAMILY』(スパイファミリー)は、遠藤達哉作の漫画。スパイ(男)、殺し屋(女)、超能力者(少女)が、ふつうの「家族」を装って奮闘するコメディだ。そのTV・劇場用アニメーションで音楽を担当したのが、

クリエイター・チーム「(K)NoW_NAME」(ノウネイム)。どこか1960～70年代の香りがただよう、ジャズとポップスのテイストがからみ合った、しゃれた音楽を生み出した。それを、見事なシンフォニック・ポップスに仕立て上げたのは、NSB初参加の鈴木瑛子。武蔵野音楽大学ピアノ科～パークリー音楽大学ジャズ作編曲専攻出身のキーボーディスト、作編曲家。これからの吹奏楽ポップスを牽引する新鋭の登場だ。なお、エリック・ミヤシロのTrpソロにもご注目を!

YOASOBIメドレー 作曲：Ayase/編曲：高橋宏樹

- 怪物 ● 祝福 ● アイドル ● 群青 ● 夜に駆ける

YOASOBIは、投稿サイトの小説を音楽化する、ユニークなコンセプトで知られる2人組ユニット。本メドレーの最終曲《夜に駆ける》が初作品で、これは星野舞夜『タナトスの誘惑』が原作であった(その後、ストリーミング再生10億回突破の最高記録を達成)。その後、4人の直木賞作家(島本理生、辻村深月、宮部みゆき、森絵都)とのコラボレーション『はじめての』などでも注目された。紅白歌合戦にも3回出場している。海外での人気も高く、先月の日米首脳会談におけるホワイトハウスの晩さん会に招待され、バイデン大統領、岸田首相のすぐそばに着席した。

誰も寝てはならぬ 作曲：ジャコモ・プッチーニ/編曲：三浦秀秋

プッチーニの遺作オペラ《トゥーランドット》第3幕冒頭でテノールがうたう、名アリア。イタリアの名テノール歌手、故ルチアーノ・パヴァロッチがテーマ曲のようにうたい、シングル発売したら、イギリスでロックを抜いてチャート1位となったことがある。日本では、2006年トリノ冬季五輪フィギュアで、荒川静香が本曲で演技し、イナバウアーで優勝したことで広く知られた。すでに吹奏楽界では、コンクールなどでの“正統派”アレンジで有名曲だが、今回は、驚くなかれ、ダンス・ミュージック風となって登場した。あの重厚な情熱のメロディが、どのように変貌したか、お楽しみに。Trpソロは、エリック・ミヤシロ。

アフリカン・シンフォニー2024 作曲：ヴァン・マッコイ/編曲：三浦秀秋

オリジナル編曲は、第5集(1977年)で初登場。もちろん編曲は岩井直博である。以来、NSBの代名詞として、また“吹奏楽のエムブレム”(佐渡裕氏命名)として、長年にわたって愛され、甲子園の定番応援曲ともなった、あまりにも有名な楽曲である。あれからほぼ半世紀。その名スコアが、ついに新アレンジとなって、よみがえる日がやってきた。この栄誉と重責を担ったのは、三浦秀秋。第35集(2007年)の《キエン・セラ》で初参加以来、毎回登場している、人気作編曲家だ。果たしてどのような響きとなって生まれ変わったのか。本日、ついにそのベールが明かされる!

Welcome to the Tokyo III jazz club

作曲：鷺巣詩郎／編曲：扶間美帆、天野正道

人気アニメーション『新世紀エヴァンゲリオン』『エヴァンゲリオン新劇場版』シリーズの楽曲(鷺巣詩郎作曲)を、鷺巣自身と扶間美帆がジャズ・アレンジしたCD『The world! EVAngelion JAZZ night =The Tokyo III Jazz club=』(2014)の第1曲目を、さらに吹奏楽版にアレンジした、ゴージャスなスコア。吹奏楽ポップスとしてはおそらく最高レベルの難易度で、トランペットとアルト・サクソフォンの超絶技巧ソロも登場する。

Tomorrow ～「生きもの地球紀行」エンディングテーマ～

作曲：杉本竜一／編曲：鈴木英史

「生きもの地球紀行」は、NHKで1992～2001年にかけて放送された動物番組。特にエンディング・テーマ《Tomorrow》は、番組終了後も小中学校の合唱部でうたわれつづけ、卒業式の定番曲のひとつもなった。音楽の教科書にも採用されている。いままでNSBに収録されていなかったのが不思議なほどのロングセラーだが、今回、人気作曲家・鈴木英史の編曲で、ついにNSBに登場した。本日は吹奏楽のみの演奏だが、出版譜は混成三部合唱(女声2、男声1)も参加できるように書かれている。

マンボ・メドレー 編曲：天野正道

● マンボNo.5 ● マイアミ・ビーチ・ルンバ ● マンボNo.8

マンボなどのラテン・ポップスは、管打楽器が活躍する曲が多いせいか、むかしから、吹奏楽でも人気があった。おなじみ《マンボNo.5》なども、第18集(1990年)に登場している(岩井直溥編曲)。今回は3曲メドレー。中間曲はルンバで、ザヴィエル・クガート楽団の演奏で大ヒットした。クガートは、ニューヨークの高級ホテル「ウォルドルフ＝アストリア」専属バンドのリーダーを長年つとめた“ルンバ・キング”である。一方、《マンボNo.5》と《マンボNo.8》は、“マンボ・キング”ことペレス・ブラードの作曲。《No.5》は、ベートヴェンの第5番(運命)にあやかって命名。《No.8》はスペイン語で1から8まで唱える“数え歌”。よってほかに《No.1》や《No.9》などはないので、念のため。

〈クラウドファンディングにご支援いただいた皆さまからのリクエスト曲〉

ディープ・パープル・メドレー (NSB1996/第24集) 編曲：佐橋俊彦

● バーン ● ハイウェイ・スター ● スモーク・オン・ザ・ウォーター

イギリスのハードロック・バンド「ディープ・パープル」の3曲メドレー。まさかこのようなスコアが世に出るとは誰

も予想しておらず、初出時、吹奏楽界を驚かせた。全編を激しいリズムが疾走する、往年のファンには心臓によくないアレンジだが、なんといっても、ふだんは“緑の下の力持ち”で目立たない、バリトン・サクソフォンのソロがあることでも話題となった。出版譜は一時絶版だったが、密かな人気が続き、今年3月に復刻されている。編曲は《メインストリート・エレクトリカル・パレード》(第20集=1992年)等が大人気となった佐橋俊彦。

シング・シング・シング (NSB1981/第9集)

作曲：ルイ・プリマ／編曲：岩井直溥

ジャズ・スタンダードとしては、NSB史上、もっとも多くのバンドに演奏され、愛されてきた名スコア。ベニー・グッドマン楽団の名曲だが、1938年カーネギー・ホールにおける“奇跡の名演”で一挙に知られるようになった。この岩井アレンジは、アマチュアでもオリジナルのテイストを再現できるように配慮された、見事なダイジェスト・アレンジ。初級バンドでも相応の響きに聴こえるよう書かれている。その一方、岩井には、先述1938年ヴァージョンを完全コピーしたプロ仕様のアレンジもある。

サウス・ランパート・ストリート・パレード (NSB1986/第14集)

作曲：レイ・ボーデック&ボブ・ハガート／編曲：岩井直溥

ニューオリンズに実在する通りの名を冠した、ディキシーランド・ジャズの名曲。原曲は1937年にボブ・クロスビー楽団が発表。ジャズ・ドラマーで米陸軍砲兵隊バンド出身のレイ・ボーデックたちが共作した。岩井は、吹奏楽の特質を十二分に生かし、ピッコロを筆頭に次々とソロを打ち出した。トロンボーンのグリッサンドも登場し、全編、底抜けに明るく楽しいスコアとなっている。音楽の、そして吹奏楽の楽しさをこまごまであらわしたアレンジは、まずない。リクエストが多かったのも納得の、永遠の名スコアである。

オーメンズ・オブ・ラブ (NSB1986/第14集)

作曲：和泉宏隆／編曲：真島俊夫

フュージョン・バンド、THE SQUARE(現T-SQUARE)による1985年の楽曲。岩井のアシスタント的な立場でNSBに参加していた真島俊夫(1949～2016)が、3曲目にして初めての大型アレンジに挑んだのが、本曲。軽快な原曲の味を生かしながら、壮大なシンフォニック・ポップスに変貌させ、吹奏楽界を驚かせた。日本中のバンドが演奏する人気曲となり、翌年の《宝島》に至っては楽譜が発売直後に完売する騒ぎとなった。この2曲で、真島は日本を代表するアレンジャーとしても名声を確立した(いまでは、この2曲を真島のオリジナル曲と勘ちがいがしている中高生もいるようだ)。TKWOが本曲を演奏するのは、ひさびさである。

〈敬称略〉

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し

高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くの録音、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル
 常任指揮者 …… 大井剛史
 特別客演指揮者 …… トーマス・ザンデルリンク
 首席客演指揮者 …… 飯森範親
 楽芸員 …… 中橋愛生
 指揮 …… 天野正道
 ゲストコンサートマスター …… オリタノボッタ
 トランペット …… エリック・ミヤシロ
 エレクトリック・ギター …… 小堀浩
 ベース …… 齋藤順
 演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太
 Flutes …… 前田綾子、白石法久
 Oboes …… 上原朋子、平林優里
 Bassoons …… 福井弘康^{*}、安藤宏
 Clarinet in E b …… 松生知子
 Clarinets in B b …… 大浦綾子、林裕子^{*}、原浩介、
 野田祐太郎、船橋菜里、木内倫子
 神田将吾、谷口英治、徳武敦
 AltoClarinet …… 川井夏香
 BassClarinet …… 大橋裕子
 AltoSaxophones …… オリタノボッタ、田村真寛
 TenorSaxophones …… 松井宏幸、都築惇
 BaritoneSaxophone …… 栃尾克樹
 Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
 本間千也^{*}、清川大介、砂川隆丈
 Horns …… 堀風翔^{*}、小助川大河、
 葛西亮、矢吹日香理
 TenorTrombones …… 今村岳志^{*}、安久津理子、石村源海
 BassTrombone …… 笹本良太
 Euphoniums …… 鎌田裕子、佐藤悠光
 Tubas …… 池田侑太、久保和憲
 Timpani …… 坂本雄希
 Percussion …… 渡辺壮^{*}、和田光世、石川勇人、
 上原なな江、荻原松美、斎藤祥子
 Drums …… 秋田孝訓

※演奏委員

コンサートマスター

林田祐和

副コンサートマスター

宮村和宏

インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

企画委員

原浩介

役員

理事長 …… 勝川本久

常務理事 …… 八反田弘

事務局

事務局長 …… 勝川本久

事務局次長 …… 堀風翔

事務局次長補佐 …… 八反田弘

制作

篠原華

大橋証太(ステージマネージャー)

羽田紀子(ライブラリアン)

専務理事

堀風翔

監事 …… 清水宏一

広報

尾崎真也

荻沼美帆(チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ

荻沼美帆

尾崎真也

佐原由起

総務

佐原由起

岩崎友香(パーソナルマネージャー)

経理

水本孝枝

クラウドファンディングご芳名

GOLDサポーター



Smart Metronome & Tuner

SILVERサポーター

株式会社サンテックビオズ

本公演チケットを返礼品に含むコースにご支援いただいた皆さま

KATOTA	加賀美猛	前田実
Kyoko Machida	河野愛二	倉井幹彦
Spain	株式会社スリーフィールズ	相良誠司
いわさく	荒井正人	村松敬祐
たじけい	佐々木新平	谷田部敬一
たじぼう	佐藤光伸	茶陰堂
まさはる&れもん	榎原浩	長坂思
まっち	山口貴弘・山口理恵	長尾安浩
まるを	山川神太浪	長門裕幸
みやの はるか	山品美果	坪田章吾
伊藤浩之	宗次ホール	田中淳子
宇江井 蒼	小笹 春奈	東森拓歩
永井紀子	須藤和久	伏木
遠藤公成	石田ひかり	野村維正
岡田美優	千葉一樹	匿名:39名

本プロジェクトにご支援いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

Tokyo Kosei Wind Orchestra

会員
募集中

賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間:会費納入翌月より1年間

お問い合わせ:東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX:03-5341-1255 MAIL:patronage@tkwo.jp



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポートーズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポートーズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters

東京佼成ウインドオーケストラではPRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか?

ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。



詳細はこちら

TKWO Season Concert Schedule 2024-25

会場：なかのZERO 大ホール

第165回 定期演奏会

オール《ジョン・マッキー》
プログラム

2024年 6月8日[土]
開演 18:30 (開場 17:45)

指揮 **飯森範親**
(首席客演指揮者)

- オーロラは目覚める/J.マッキー
- ソプラノ・サクソとウインド・アンサンブルのための協奏曲/J.マッキー
- 翡翠/J.マッキー
- レッドライン・タンゴ/J.マッキー
- フローズン・カテドラル/J.マッキー



独奏 **林田祐和**
(TKWOコンサートマスター)

[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円 会員先行 2024年4月1日(月)/一般発売 2024年4月8日(月)

第166回 定期演奏会

オストウォルド賞の系譜

2024年 9月28日[土]
開演 18:30 (開場 17:45)

指揮 **大井剛史**
(常任指揮者)

- 朝鮮民謡の主題による変奏曲/J.B.チャンス
- 交響曲第1番/J.バーンス
- 交響組曲/C.ウィリアムズ
- シンフォニア/周天



[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円 発売日:調整中

第167回 定期演奏会

マスランカ・チクルス Vol.2

2025年 1月11日[土]
開演 18:30 (開場 17:45)

指揮 **大井剛史**
(常任指揮者)

- ブレスク風ロンド(1972年委嘱作品)/伊福部 昭
- 交響曲第9番*/D.マスランカ

ピアノ **鈴木 慎崇***



[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円 発売日:調整中

※全席指定・税込 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※出演者、曲目、時間等は変更にある場合がございます。
※会員先行は定期会員・サポーターズクラブ会員対象。

東京佼成ウインドオーケストラ 公演情報

2024年 12月17日(火) 19:00(開場:18:15)
東京オペラシティ コンサートホール:タケミツメモリアル

指揮:大井剛史(常任指揮者)
ゲスト:ジェイコブ・コーラー(Piano) ほか

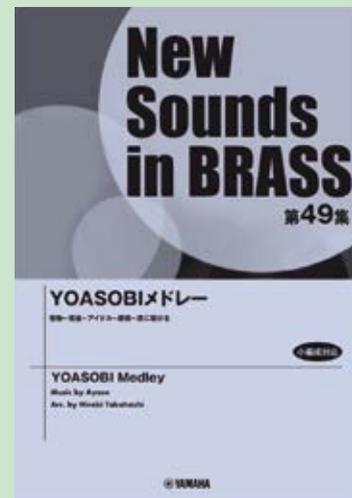
クリスマスコンサート2024

New Sounds in BRASS

ポップス吹奏楽譜の真髄、
「ニュー・サウンズ・イン・ブラス」シリーズ
待望の新作



第49集
全9商品



YOASOBI メドレー 小編成対応

【構成曲】怪物～祝福～アイドル～群青～夜に駆ける

- 演奏時間:約6分40秒
- ISBN:978-4-636-11295-5
- 難易度:★★★
- 商品コード:GTW01101604
- 編曲:高橋宏樹
- 11,000円(10%税込)

SPY×FAMILY メドレー

【構成曲】STRIX～Crisis of my home～Gorgeous step～Very Elegant～Bondman～クラクラ

- 演奏時間:約6分35秒
- ISBN:978-4-636-11296-2
- 難易度:★★★★
- 商品コード:GTW01101605
- 編曲:鈴木瑛子
- 11,000円(10%税込)

ディズニー・メドレー・リターンズ

【構成曲】小さな世界～ハイ・ホー～ララルー～
いつか王子様が～ミッキーマウス・マーチ～カラー・
オブ・ザ・ウィンド～美女と野獣

- 演奏時間:約7分57秒
- ISBN:978-4-636-11297-9
- 難易度:★★★
- 商品コード:GTW01101606
- 編曲:星出尚志
- 13,200円(10%税込)

ジャパニーズ・グラフィティ XXII シティー・ポップ・メドレー

【構成曲】SPARKLE～プラスティック・ラヴ～
君は天然色～フライディ・チャイナタウン～
真夜中のドア～stay with me

- 演奏時間:約7分55秒
- ISBN:978-4-636-11298-6
- 難易度:★★★
- 商品コード:GTW01101607
- 編曲:金山 徹
- 11,000円(10%税込)

アフリカン・シンフォニー

- 演奏時間:約5分03秒
- ISBN:978-4-636-11301-3
- 難易度:★★★
- 商品コード:GTW01101610
- 編曲:三浦秀秋
- 11,000円(10%税込)

Welcome to the Tokyo Ill jazz club

「The world! EVAngelion JAZZ night =The Tokyo Ill Jazz club=」
『エヴァンゲリオン』シリーズより

- 演奏時間:約6分17秒
- ISBN:978-4-636-11299-3
- 難易度:★★★★★
- 商品コード:GTW01101608
- 編曲:抜間美帆・天野正道
- 13,200円(10%税込)

マンボ・メドレー

【構成曲】マンボ No.5～
マイアミ・ビーチ・ルンバ～マンボ No.8

- 演奏時間:約8分08秒
- ISBN:978-4-636-11300-6
- 難易度:★★★★★
- 商品コード:GTW01101609
- 編曲:天野正道
- 13,200円(10%税込)

Tomorrow ～「生きもの地球紀行」エンディングテーマ～ 小編成対応

- 演奏時間:約4分03秒
- ISBN:978-4-636-11302-0
- 難易度:★★
- 商品コード:GTW01101611
- 編曲:鈴木英史
- 9,900円(10%税込)

誰も寝てはならぬ「トゥーランドット」より

- 演奏時間:約4分15秒
- ISBN:978-4-636-11303-7
- 難易度:★★★
- 商品コード:GTW01101612
- 編曲:三浦秀秋
- 9,900円(10%税込)

株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス 〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10

商品のお求めは、全国ヤマハ特約楽器店・書店・弊社オンラインショップ <<https://sheetmusic.jp.yamaha.com/>>
商品に関するお問い合わせは、「ヤマハの楽譜出版」サイト <<https://www.ymm.co.jp>> まで